

平成23年度第2回生駒市子ども読書活動推進計画実践会議議事録（要約）

日 時： 平成24年2月10日（金）午後2時から

場 所： 図書会館 実習室

【委員】 岩崎れい、松田孝一、平井富久子、西村與里子、島谷佳子、高尾治良、
奥本恵、伊東英治、松本陽子
(欠席) 安田潤子、峯島妙

【事務局】 生田敏史、向田真理子、平澤佐千代、清水淳子、春名己容子（以上図書会館）

1 開会

- ・ 会長挨拶

2 案件

(1) 平成23年度事業報告について

◎ 事務局より、今年度の実践会議事業について報告。

- ・ **第1回会議(7月15日)** 新委員5名の辞令交付。事務局からこれまでの経緯や取り組み等の説明の後、先進的な活動の事例として岡山市の学校図書館と学校図書館司書を紹介したビデオを鑑賞し、意見交換を行う。
- ・ **先進地視察(10月21日)** 委員9名、学校図書館司書2名と事務局、合わせて15名で、箕面市の第六中学校と東小学校を訪問。図書館の昼休みの活動状況や、司書教諭と学校図書館司書による授業を見学。箕面市生涯学習課の職員、両校の学校図書館司書、東小学校の教頭先生による学校図書館司書全校配置の経緯説明、質疑応答。

(生駒市ホームページ参照)

(2) 平成24年度事業計画(案)について

◎ 委員からの提案

*学校図書館司書との交流会

*平成23年度より、小学校12校、中学校8校の全校に週1日配置。(計7名)

- ・ 学校図書館司書と実践会議委員との交流会を実施。学校図書館司書の実践報告、委員との意見交換等を行い、その中から課題を見出し、公共図書館からの支援のあり方を模索することとする。

(3) その他

◎ 先進地視察の感想

- ・ 箕面市の学校図書館は、司書が毎日図書館にいるのが生駒市とは違う。休み時間もかなりの人数の子どもたちが利用していて、生徒が図書館に親しんでいる様子が伺えた。設備もよく広い。また司書教諭と司書による授業では、読み聞かせを真剣に聞く生徒たちの姿が印象に残った。生駒市でも実践していけるとよいと思う。
- ・ 学校図書館司書により使いやすく整備されており、子どもが司書に何でも質問できそうな親密さがあった。気軽に入りやすい、ゆったりした空間だった。学校間で本の貸し借り、予約ができるのも、本を効率よく回せてよい。また小学校の図書館は1階玄関の近くの便利な場所にあり、返却ポストが設置されているのも利用しやすいと感じた。
- ・ 箕面市は学校図書館司書同士の横のつながりがある。情報交換を密にすることで各学校図書館のレベルに差がなくなり、司書の交替によって図書館の質が落ちるといことがないだろう。
- ・ 箕面市は生駒市と人口や世帯数、財政規模等が似ており、比較するには最適だった。子どもたちが礼儀正しく、質の高い教育を受けているのだなと思った。人権教育に力を入れているのが、蔵書の特色として表れていた。同行した生駒市の学校図書館司書にも良い経験となったようだ。
- ・ 箕面の小学校はハード面(建物等の施設面)もよかったが、ソフト面で私たちの手に届くような身近な工夫もされている。活動の手本にしたい。学校図書館では手に負えないレファレンスを公共図書館が助ける等、連携の仕組みが出来上がっていた。
- ・ 箕面市は学校間、公共図書館との連携、物流の方法など工夫されている。大げさなシステムではなくパソコンを使って連絡調整しているところ等、学ぶべきところがある。

◎ その他（学校図書館・学校図書館司書・公共図書館との連携等について）

- ・ 中学校の図書館部会では、電算化に向けて本の装備などの準備が進んでいる。できるだけ早く実現化したい。
- ・ 来年度の交流会で各校の取り組み状況を知りたい。公共図書館との連携について、どんなことができるのかあまりわかっていないが、学校図書館司書が間に入ることによって団体貸出などをよりスムーズに行っていければよいと思う。本校の学校図書館司書は、はじめは本の修理に追われていたが、夏休みに公共図書館の司書による絵本の読み聞かせ講習会に参加し、このごろは1年生対象に読み聞かせもしてくれている。今後も活動の場が広がるように、学校図書館司書に研修の機会を増やしていただけたらと思う。

- ・ 就学前の子どもたちが対象だが、視察でみてきた事例などを保育士、子どもたちにおろしていきたい。園ではリズム室に図書スペースがあり、毎週子どもへの貸出も行っている。子どもたちが小学校に上がるまでにしてやれる事をやっていきたい。
- ・ 行政としても、電算化、蔵書の整備等、学校図書館のより一層の充実に向け努力したい。
- ・ 生駒おはなしの会では毎年光明中学校の1年生におはなしとミニブックトークを行っている。今年は場所が図書館だったが、とても気持ちよく整えられていて感心した。ミニブックトークでは市の図書館が発行している『中学生本よも²新聞』掲載のおすすめ本を紹介し、たくさんの貸出があった。図書館という本が身近にある場所で行った事に成果があったように感じた。学校図書館司書のがんばりで図書館が整ってきているのだと思う。今後、週1日より増えていく事を望む。
- ・ 生駒の学校図書館司書は一生懸命がんばっておられる。研修の機会も与えてあげたい。最新の『中学生本よも²新聞』で司書の特集記事が載っているので、委員の皆さんもぜひ読んでほしい。
- ・ 公共図書館との連携を充実していきたい。生駒市でも箕面市のように資料とレファレンスで学校図書館をバックアップしていきたい。
- ・ 生駒の学校図書館司書はすばらしいと思っている。今日は先生方から学校図書館司書ががんばっている様子を聞かせていただけてよかった。
- ・ 学校図書館司書と公共図書館では、学期ごとに話し合いの場を設け、今年度は公共図書館の司書が講師となって絵本の読み聞かせ研修も行った。学校へは電算化に向けてのアドバイスもさせていただいている。団体貸出の方法等も学校図書館司書を通じてより活発化していけばよいと思う。具体的な連携の内容については、公共図書館が学校・学校図書館に対してどのようなサービスをしているのか、整理して書いたものを配る等工夫したい。箕面市のように学校間の本の貸し借りは難しいが、学校と図書館の間では既に出来ている。今後考えていきたい。
- ・ 学校図書館が抱える課題は様々にある。司書の人員充実、施設の位置とスペースの確保(楽しく明るい居場所)、電算化と物流の確保、コレクションの充実(どの本を入れるかは、公共図書館との連携にも関わる)。学校図書館を充実させることは、教育の質の向上にもつながる。子どもが“図書館”を生涯使い続けていくために行政から見た整備もお願いしたい。また就学前のサポートとして幼稚園、保育園での読書環境を整えることも大事だろう。
- ・ 生駒市の小中学校に学校図書館司書を配置するというのは、この会議の発足当時から切望していた事。それがこの2、3年の間で全校配置まで進み、光が見えたようで喜んでいる。この足がかりをなくさないように進めていきたい。まだまだ課題はたく

さんあるが、公共図書館ができることは少なくないはず。地道な活動だが委員の方々のご支援があつてこそここまで来ることが出来た。今後とも学校の方々とも協力して推進していきたいと思っている。